

# 《 教育プログラム 》

## 教育プログラムの評価指標

- 評価項目：1. レベル分けの基準：スキルマップ等レベル分けの基準が記載されている
2. レベル分けの方法：レベル分けをするうえでの力量評価の方法が記載されている
3. 具体的な評価方法：スタッフ育成について、具体的な評価方法が記載されている

評価基準：A 評価：評価項目が、3 項目全て記載されている

B 評価：評価項目が、2 項目記載されている

C 評価：評価項目が、1 項目のみ記載されている

※ 評価項目 1～3：施設内で運用している文書またはチェックシートを PDF 化して提出

## ◆ 評価サンプル

### 1. レベル分けの基準が記載されている

(階層別の基準(対象者・評価者・指導者の役割や条件など) やスキルマップによる基準の明瞭化など)

#### 4. 対象者・評価者・指導者

##### 1) 導入時教育対象者

- (1) 新規採用要員
- (2) 人事異動、ローテーション等により、生理機能検査室に配置された要員
- (3) 産休明け等の長期休暇者

##### 2) 随時教育（新規検査取得時）

導入時教育終了後の新規検査取得を目指す生理機能検査室全要員

##### 3) 定期的教育（年1 回）

導入時教育終了後の生理機能検査室全要員

##### 4) 評価者

検査室リーダーまたは、副検査室リーダーが行う。

##### 5) 指導者

資料より一部抜粋

## 2. レベル分けの方法が記載されている

(検査室で定めた基準(力量)による評価方法, 期間, レベル区分など)

### 5 方法・評価

#### 1) 導入時教育

「XXXXXXXXXX」をもとに、配属日からSTEP1(2週間後)、STEP2(4週間後)、STEP3(8週間後)ごとに各項目を評価する。評価は自己評価と評価者評価

#### 2) 随時教育(新規検査取得時)

各検査業務いずれも「XXXXXXXXXX」を用いて評価を行う。

評価は、「XXXXXXXXXX」にて研修開始後、

#### 3) 定期的教育

スタッフの遂行能力レビューとして、原則年1回「XXXXXXXXXX」を使用し、定期的に評価する。また、記録原本は事務室にて保存するものとする。

##### (1) 要員のレベル区分と到達目標

評価対象業務経験年数ごとに分類する。

(レベル区分)

レベル1 要員: 5年未満

資料より一部抜粋

## 3. 具体的な評価方法が記載されている

(スタッフ育成について, 具体的は評価項目や評価基準および実施方法など)

F	腹部超音波	疾患	転移性肝腫瘍の超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			胆嚢腺筋腫症の超音波上での分類と超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			胆嚢癌の超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			浸潤性膵管癌の病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			IPMNの病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			SCAの病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			MCNの病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			NETの病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			急性・慢性膵炎の病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			腎血管筋脂肪腫の病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			腎細胞癌の病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			後腹膜腫瘍の精査について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			悪性リンパ腫の病態および超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
			転移性リンパ節と反応性リンパ節腫大の超音波像について	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5
基礎	患者への検査説明	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
	超音波解剖の理解	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
	病態生理の理解	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
	依頼目的に沿った検査実施	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		
	超音波診断装置の操作	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5		

資料より一部抜粋